

## こどもミュージアム 2023

# おばけのマール と

# ほしにねがいを

## < 開催結果報告 >

「こどもミュージアム」は、夏休み期間に子どもたちに美術館に親しんでもらうことを目的に、毎年テーマや講師をかえて実施している教育普及プログラムです。

『おばけのマール』シリーズは、三岸節子の夫・好太郎の故郷である札幌を舞台にお話が繰り広げられる札幌の“ご当地絵本”です。シリーズ第4作目『おばけのマールとちいさなびじゅつかん』（2008年）の舞台が、当館のパートナー館である北海道立三岸好太郎美術館だったことをきっかけに、2021年夏に当館で本州初の「さっぽろからやってきた！おばけのマール絵本原画展」を開催しました。そのときに発行した、一宮が舞台となった絵本『おばけのマールとモーニングのあとで』は、たくさんの場所で、たくさんの人に愛されています。このたび、北海道立三岸好太郎美術館・一宮市三岸節子記念美術館にてシリーズ最新作ミニ絵本『おばけのマールとほしぞらのフルコース』が同時期発売されたことを記念し、ふたたびマールが一宮に来てくれました！今回は美術館だけでなく、日本三大七夕祭りのひとつ「おりもの感謝祭 一宮七夕まつり」や、今年リニューアルした一宮地域文化広場プラネタリウム館にも舞台を展開し、さまざまなイベントを開催しました。

### 『おばけのマールとほしぞらのフルコース』

え・なかいれい ぶん・けーたろう 発行：中西出版株式会社

三岸節子が1967(昭和42)年に好太郎作品220点を北海道に寄贈。それがきっかけとなって北海道立三岸好太郎美術館が開館しました。その史実をもとにした、マールたちが宝物を運ぶ旅に出る、三岸夫婦の絆を描いたファンタジー。



【事業名】 こどもミュージアム 2023 「おばけのマールと ほしにねがいを」

【開催期間】 2023年7月8日(土)～9月3日(日) 49日間 ※台風のため8月15日[火]1日臨時休館

### 内容・参加者数等

- |                                   |         |
|-----------------------------------|---------|
| ■ 館内クイズ&スタンプラリー「ほしにねがいを」(会期中毎日)   | 約 830 人 |
| ■ ペーパークラフト「おばけのマールの着せ替え人形」(会期中毎日) | 977 人   |
| ■ 絵本読み聞かせ (7/22[土]・8/26[土])       | 計 34 人  |

#### サテライトイベント

- |  |           |
|--|-----------|
| ■ 一宮七夕まつり「マールのねがいごと短冊」 in オリナス一宮 (7/27[木]～7/30[日])                   | 約 2,800 人 |
| ■ 出張プラネタリウム・プログラム<br>「おばけのマールと ゆめのとびら」 in 一宮地域文化広場 (8/19[土]・8/20[日]) | 計 320 人   |

## 関連イベント

### ■ 館内クイズ&スタンプラリー「ほしにねがいを」

「マールと一緒に、星を探す旅に出よう！」をテーマに、ワークシート「たびのしおり」を作成し、それをたよりに星や月や太陽を探しながら、マールと一緒に美術館内に設置された4つの目的地を巡る、館内クイズ&スタンプラリーを行いました。

もくてきち①…ミルキーウェイ（天の川）

もくてきち②…夏の大三角

もくてきち③…三岸節子コレクション展「太陽に祈りを」展示作品の中から、星・月・太陽にまつわる作品を探す

もくてきち④…土蔵展示室内に輝く満天の星

クリアした参加者には、蓄光ステッカーをプレゼントしました（プレゼントは中学生以下対象）。



蓄光ステッカー  
暗いところでは  
こんな感じに光ります！

### ■ ペーパークラフト「おばけのマールの着せ替え人形」

パーツを自由に組み合わせて、マールの着せ替え人形が作れるペーパークラフトです。浮輪やアイスキャンディーといった夏を感じさせるアイテムや、マールの好きなブロッコリー、一宮市のマスコットキャラクター「いちみん」など、さまざまなパーツを組み合わせて、自分だけのマールを作りました。



### ■ 絵本 読み聞かせ

『おばけのマール』シリーズの読み聞かせを行いました。親子連れだけでなく、大人の方にもご参加いただきました。

読み手：中須賀朱美さん（朗読グループ 言の葉）

参加者：①7月22日(土)10:00～ 22人 ②8月26日(土)10:00～ 12人 計34人



## サテライトイベント

今年は、美術館を飛び出して、さまざまな場所やイベントともコラボレーションしました。

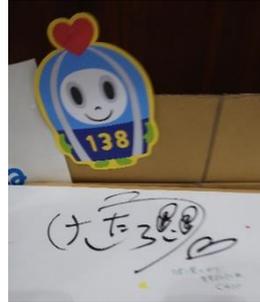
### ■ 一宮七夕まつり「マールのねがいごと短冊」

一宮七夕まつりの会期中、一宮市のマスコットキャラクター「いちみん」と「おばけのマール」がコラボレーションした特別デザイン短冊に、ねがいごとを書いて飾りました。

実は、『おばけのマール』シリーズの文章を手がけるけーたろう先生にもお越しいただき、ねがいごと短冊を書いていただきました！

期 間：7月27日(木)～7月30日(日)

場 所：オリナス一宮



### ■ 出張プラネタリウム・プログラム「おばけのマールと ゆめのとびら」

シリーズ第6作目の絵本『おばけのマールとふしぎなかがくかん』(2014年)の舞台となったのは、札幌市青少年科学館でした。今回は、そこで上映されている人気プログラム『おばけのマールとゆめのとびら』を、一宮地域文化広場プラネタリウム館にて特別上映しました。札幌市青少年科学館学芸員の奥塚哲史さんをお招きし、丁寧に解説をしていただきました。

また、一宮が舞台となった『おばけのマールとモーニングのあとで』を投影して読み聞かせを行ったり、悠伽里さんによるアイリッシュハーブの演奏と歌も楽しんだり、盛りだくさんの内容でした。

なお、参加者特典として、一宮地域文化広場プラネタリウム館がデザインされた限定缶バッジをプレゼントしました。

参加者：①8月19日(土)151人

②8月20日(日)169人 計320人



また、8月19日(土)10:00～11:00には、当館でなかいれい先生のサイン会を開催し、49名の皆さんにお越しいただきました。なかには、マールのTシャツを着て参加された方や、遠方からお越しくくださった方もいらっしゃいました。



一宮でもすっかり人気者になった「おばけのマール」と一緒に、この夏もいろんなイベントを楽しんでもらおうと、今回は美術館だけでなく、一宮七夕まつりや一宮地域文化広場ともコラボレーションしたサテライトイベントを開催しました。

シリーズ最新作ミニ絵本『おばけのマールとほしぞらのフルコース』は、三岸好太郎・節子夫妻の絆を描いたストーリーとなっています。より多くの方に、「おばけのマール」や三岸夫妻のことについて、さらに知っていただく素敵な機会になったのではないかと感じています。マールが繋いでくれた縁を大切にしながら、当館では今後も、子どもたちが楽しんでアートにふれることができる機会を提供していきたいと思います。

(学芸員 丹野)